

草花折立区域
公共交通実証実験説明会

開催結果の概要



ご理解いただき、ありがとうございました！

開催日時 令和2年2月15日（土） 午後2時～3時
開催場所 折立会館
参加人数 21名

当日いただいたご質問と、その回答をお知らせします。

Q. 「フィーダー交通」という表現がわかりにくい。

A. 鉄道やバスなどの幹線交通を支える「支線交通」という意味で用いています。

Q. 乗車定員が4人だと、乗り切れないのでは？

A. ご意見を踏まえ、田中会長とも調整させていただき、6人乗以上、1日10便に変更します。

Q. ダイヤが遅れ、バスへの乗継ぎに失敗する可能性は？

A. 余裕を持ったダイヤなので、乗継ぎに失敗する可能性は低いと考えています。

Q. 運賃は100円とのことだが、乗り継いだ場合はるのバスを無料にしてほしい。

A. るのバスに乗り継いだ場合は100円+100円=200円で、不公平が生じるというご意見は理解できます。一方、路線バスの初乗りは180円であり、深沢区域の実証実験でも一定の負担をお願いしていることから、今回はるのバスの運賃につきましても、ご負担をお願いします。

Q. 福生駅や公民館に直接行けないか？

A. 福生駅へ出るルートには西東京バスの路線があり、同じルートを通した場合、西東京バスの乗客を減少させる可能性が高いことから、国の許可が下りないと思われれます。また、公民館につきましても、るのバスへの乗り継ぎをお願いします。

Q. 土日の運行についても考えてほしい。

A. るのバスが平日のみの運行なので、乗継ぎが基本となる今回は平日のみの運行とさせていただきます。

Q. 実証実験終了後、利用状況が悪いから中止では困る。

A. 実証実験の利用状況に関わらず、草花折立区域には公共交通対策が必要と考えております。実証実験は1年間で一区切りとし、今後の公共交通対策の手法や導入時期の検討材料として検討の上、今後の市全域の公共交通対策に生かしていきます。

担当

あきる野市企画政策部企画政策課

電話：042（558）1111（内線：2213）

実証実験の概要

(1)目的

- ア 公共交通空白地域の住民の方々の移動支援及び生活の質の向上を図る。
- イ 主要バス停への移動を支援し、路線バス等既存の公共交通の利用促進を図る。また、その目的を果たすためのフィーダー交通(支線交通)としての有効性を検証する。
- ウ 路線定期運行交通の有効性と課題を検証する。

(2)実施期間

実験開始日から1年間とする。

(3)対象者(要件)

以下のいずれかを満たし、実証実験のアンケート調査にご協力いただける方

- ア 公共交通優先検討区域の草花折立区域にお住まいの方
- イ 草花折立区域への訪問者、観光客等

(4)実施内容

草花折立区域から幹線バス(るのバス、西東京バス、はむらん)停留所 への移動手段を確保するため、決まったルートとダイヤで、タクシーサイズの車両を運行する。

※詳しい運行ルートとダイヤは別紙のとおり

(5)利用方法等

ア 利用方法

各停留所で待機し、乗車する。乗車時に運賃を支払うとともに目的の停留所を運転手に告げ、到着したら下車する。

イ 運賃(乗車時に運転手に支払う)

1回の乗車につき1人100円

※既存のコミュニティバスの運賃(大人・子ども一律100円、未就学児無料)とのバランスを考慮した。

(6)車両

事業者が所有する車両(ワンボックス型)を予定。

※一度に乗車できる人員は運転手を除き、6人~9人



(7)運行事業者

観光バス事業者又はタクシー事業者 → (入札の結果による)